

第9回長野市総合計画審議会作業部会 教育部会 会議録（概要）

日 時：平成 18 年 5 月 11 日（木）

午後 1 時 30 分から

場 所：第一庁舎 8 階 第一委員会室

（１）基本計画の体系及びたたき台（教育関係）について

<全体を通して>

- 作業部会員 ・「推進」と「促進」はどのように使い分けているのか。
- 事務局 ・「推進」は、主に市として取り組むべき施策・事業、または進めている施策・事業のことであり、「促進」は、直接市が行う施策・事業ではなく、市民の方や民間で行う施策・事業の進み方がはかどるようにするべき施策・事業として使用している。

<基本施策 4-1-1>

- 作業部会長 ・それぞれの目標、主な取組の内容はどうか。また、表現が分かりやすいかどうかなどの点でご覧いただきたい。
- 作業副部長 ・方針にある「たくましい人材」という表現がわかりにくい。
- ・411-02 の目標にある「わかる授業の実践」は、実際の教育現場を考えると難しいので、違う表現にした方がいいのではないかと。「地域の特色をかきた学校づくり」は授業の内容を指しているのか、否かがわからない。
- ・411-03 の目標にある「個々」という言葉からは、人間ではなく、物を扱うような印象を受けるので検討した方がいいかと思う。
- 作業部会員 ・411-05 の主な取組の 3 点目は、高等教育機関同士の連携を指しているようで、行政との連携が含まれるとすると、このままではその意味が取れないのではないかと思うので、「・・・機関との」という表現とした方がいいかと思う。後段は、「高等教育を受ける機会の充実」とした方がわかり易いのではないかと。
- 作業部会長 ・「たくましい人材」という表現について、学校教育課長にお願いしたい。
- 専門部会員 ・基本施策の方針については、ワークショップなど今までの議論の積み重ねを基に作成したものであるため、委員の皆さんの意見を聞きたい。
- 作業副部長 ・今まで議論してきた積み重ねにより表現される「たくましい」の意味と、一般的にイメージされる「たくましい」の意味が違う可能性があるため、脚注を付けなくても、たくましい人材の中身を表現しておいた方がいいかと思う。
- 作業部会員 ・最近は、女性もたくましいと言われるので、特に男性だけに使われる形容詞ではないかと思うが、「たくましい」とすると、誤解を受ける可能性があるため、違う表現を考えてもいいかと思う。
- 作業部会員 ・言葉自体の表現より、現況と課題に記載される内容から「たくましい人

- 材」がどういうものが表されてくるのではないかと思うので、色々と想像しながら読取っても良いのではないか。
- ・ 現況と課題は施策ごとに作成するのか。
- 事務局
作業部会員
- ・ 基本施策ごとであり、各施策単位では作成しない。
 - ・ 現況と課題、あるいは各施策の主な取組の中で分かるように表現していけば良いかと思う。
- 作業部会長
- ・ 学校教育の場面でいうと、「たくましい人間を育てる」という表現は日常的に使われている。心身ともにたくましい人材をつくるということで使用している。現況と課題の中でわかるように表現していくということでお願ひしたいと思う。
 - ・ 411-02 に対する意見について、補足があったら願ひしたい。
- 作業副部会長
- ・ 「わかる」とした時、実際現場で授業を進める教員の立場を考えると、どのレベルを捉えて「わかる」と評価するのが難しいと思う。
 - ・ 「特色ある学校づくり」は、学校の立地が都市部か山間地かということが反映されてくるということなのか。どのような学校づくりかイメージができなかった。
- 専門部会員
- ・ 子どもたちにとって基礎学力の定着は必要とされていることであり、授業自体を大切にしていくことは必要だと思うので、主な取組としては必要だと考えるが、「わかる授業」という表現の仕方については、わかるのレベルを考えると別の言葉にした方がいいのかもしれない。
 - ・ 地域の特色というのは、それぞれの地域ごとに特色があり、地域がはぐくんできた伝統や文化と学校とを密接に結び付けていく必要があり、各学校が特色を持った学校づくりをしていかなければならないのでこのような表現は必要かと思う。
- 作業部会長
- ・ 411-03 の「個々」という言葉がひっかかるという意見があるがいかがか。
- 作業部会員
- ・ 411-02 の目標の中で一番大切なのは「子どもの持ち味をいかす教育の展開」であろう。それを進める上で必要なものが、その前にある「わかる授業」であり、地域やふるさとの中でつくられる学校ということだろう。そのように考えると、411-03 についても、「個々」というのは、「児童・生徒一人ひとりの自立と主体的な社会参加を支援する環境」づくりがそれぞれの子どもたちに応じた支援体制につながっていくということかと思う。子どもだけではなく、「事態」も含まれるのではないか。とするとこのままでいいのではないかと思う。
 - ・ 411-02 の目標に「・・・学校づくりなどにより」と「など」という表現があるが、これは、目標に記載されている内容のほか、主な取組やより具体的な活動の展開を含んでいる言葉だと思う。
- 作業部会長
- ・ 「個々の」という箇所を「一人ひとりの」とすることも考慮に入れて検討していただきたい。

- 専門部会員 ・資料4に、現段階で了承いただいている基本構想があるが、この中でも「個々の児童・生徒の」という表現を使っている。
- 作業部会長 ・「個々の」唐突に出てくると違和感を感じるということもある。
 ・411-05に対する意見についてはいかがか。
- 事務局 ・ご指摘のとおりなので、修正するよう検討したい。
- 作業副部会長 ・411-02に学校間の連携や交流の推進という表現があるが、小学校と中学校の連続性については、どのように考えているのか。
- 専門部会員 ・小学校と中学校間の教員の異動や、授業に関する教員同士の研究会は行っているが、子どもの連続性については、実施していないかと思う。ただ、3年前から市独自で小6と中2を対象とした基礎学力調査を実施しており、学力がどのように推移しているかについては取り組んでいる。
- 作業部会員 ・幼児、小・中学校、高等学校・大学を並列にしてもいいのだろうか。高校に関しては、市立高校があり、特色のある高校づくりをしていかなければならないので良いかと思うが、大学や専門学校は範疇が違うのではないか。大学や専門学校は、地域を活性化していくなど、違う観点で考える必要があるのではないか。
- 事務局 ・大学などの具体的な教育内容を充実させていくことは困難なことかとは思いますが、市内でも専門的な高等教育を受ける機会を充実させる必要はある。また、大学側も地域連携に積極的に取り組んでいる状況である。教育分野での記載のほか、産学行連携に関する取り組みについては産業分野に記載しており、地域を活性化するという内容は総合計画に盛り込まれている。
- 作業部会員 ・信大以外にも、各種専門学校等への支援は必要だと思う。また、411-02に、学校間の連携という項目があるが、小・中学校と専門学校との連携というものも考えられるので、411-05の主な取組の3点目のような取組は掲載されていて良いと思う。「大学等高等教育機関」という表現だと専門学校等の意味合いが取りにくいので、「大学や専門学校など高等教育機関」とするなど、具体的な表現を加えたほうが良いかと思う。
 ・411-03は、特別な教育的支援だとか、ハンディキャップを抱えた子どもだけを対象としているように感じる。まずは、不登校やいじめを出さない学校体制が必要であり、全ての子どもたちを対象とした表現とするためにも、だれもが学校に来れるというようなニュアンスがほしい。
 ・新聞報道等で、長野養護学校について県から市へ移管要請があったと聞いているが、今後5年ないし10年以内にそのような動きが見込める場合は、それに対応する記述が必要かと思うがどうか。
- 専門部会員 ・県としてというより、県知事の意見と受け止めており、市としては全く考えていない。
- 作業部会長 ・411-03の施策については、家庭環境も重要となってくるので家庭に関し

ても配慮したものとしてほしい。

<基本施策 4-1-2>

- 作業部会員 ・基本施策の方針に、「生活習慣を身に付ける場である」との表現があるが、家庭をそのような役割として言い切ってしまうことには疑問がある。
- 作業部会員 ・「生活習慣を身に付ける場など」という表現としたらどうか。
- 作業部会員 ・連携だけでなく、家庭や学校、地域、三者三様にそれぞれの役割を果たした上で連携をしていく必要がある。基本計画はそのように作られているかと思う。
- 作業部会長 ・長野市の教育大綱では家庭教育について、「生活習慣・しつけ・豊かな情操を培い」とあるので、参考としてもらいたい。
- 作業部会員 ・412-02 の主な取組に「子どもたちを取り巻く有害環境対策の推進」とあるが、親の立場としては、携帯電話やインターネットへの対応もどこかに含みこんでほしい。
- 作業部会員 ・現況と課題の中で表現していてもいいのではないか。
- 事務局 ・3章「より安全で安心して暮らせるまち」の施策 321-02「防犯対策の推進」の中にも、子どもから大人まで含んだ対策として記載しているが、教育分野においても表現できるか検討したい。
- 専門部会員 ・411-02 の主な取組 4 点目にある「教育の情報化」という表現があるが、この中でも対応していると考えている。
- 作業部会員 ・メディア・リテラシーなど言われているが、大切な内容なので、411-02 で強調することも必要かと思う。
- 作業部会員 ・基本施策 412 は、「家庭・地域の教育力の向上が図られる環境」と「家庭・学校・地域が連携、交流して子どもたちを守り育てていく環境」をつくることで基本施策 412 の方針にあるまちを目指すという構成になっているかと思う。そのように考えた時、412-01 及び 412-02 のそれぞれの取組は掲載されているものだけでよいだろうか。委員がもう一度見直してみる必要があるかと思う。

<基本施策 4-2-1>

- 作業部会員 ・事務局から問題提起があったが、政策 1 と政策 2 の順番に関しては、政策 1 は最終的に、豊かな生涯学習のまちづくりがされていくという流れに繋がっていくかと思うので、このままで良いと思う。
- 作業部会長 ・これまでの議論のそのように進んできたのでこのままということにしたい。
- 作業部会長 ・421-01 に、図書館に関する記述があるが、最近日本語が乱れていると言われていたことを考えると、411-02 にも、学校図書館の充実について入れてもらいたい。
- 作業副部会長 ・421-01 に学習指導者の活用とあるのは、基本施策 412 の各施策の主な取組には、実施主体が書かれていないが、412-01、02 へ生きていくるとい

うことで良いか。現行では、それぞれの取組が単独で行われていて他の取組とリンクされていない点が欠点だと思うので、リンクされるような形で表現してほしい。

(2) 市民フォーラム 21 各作業部会間の調整事項について

- 作業部会員 ・内容を見ると、631-01 に関しては教育・文化分野と重複している感じがするので、この部分のみの移行なら可能かと思うが、631-02 の移行は無理だと思う。
- 作業部会員 ・学校教育では、国際理解の教育を抜くことはできない。411-02 に重点的に入れるのか。631-01 のタイトルを変えたほうが良いのか。学校教育を超えたところであるとする、関連はあるけれどこの分野には合わないのではないか。
- 作業部会員 ・それぞれの取組を分散すれば可能かと思うが・・・。
- 専門部会員 ・631 の取組をどこかに分散するというのではなく、この基本施策を全てそっくり持ってくるということである。
- 専門部会長 ・専門部会でも検討したが、庁内の委員の中では、教育・文化分野への移行は副わないのではないかということであった。
- 作業部会長 ・教育部会の意見としては、それぞれの施策に要素として入れていくことは可能だが、「国際化への推進」というもの全てをそのまま移行するのは好ましくないということとしたい。

(3) 基本計画の体系及びたたき台（行財政関係）について

- 事務局 ・ご意見がある場合には、14 日（日）までに投函いただくようお願いしたい。

以上